

経尿道的腎・尿管結石破砕術を受けられる患者さんへ

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後することがありますのでご了承ください。わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

担当医

説明看護師

月日	/	/	/	/
経過	入院日	手術前日	手術前	手術後
目 標	手術の準備を整えることができる。		疼痛がコントロールできている。 → 血尿の増悪がなく、尿の流出が順調である。 →	尿道カテーテルが抜去でき、抜去後には自尿が確認できる。 →
処 置			手術室に行く前に体温、脈拍、血圧を測ります。 弾性ストッキングをはきます。 → 義歯、指輪、ネックレス等は全てはずしてから手術室に行きます。	手術後落ち着くまで体温、脈拍、血圧、尿量の測定を行います。 → 
点 滴			点滴があります。 →	朝の点滴が終了後、点滴を抜きます。
お 薬	普段飲んでいる薬を確認します。お薬とお薬手帳を持参のうえ、看護師にお渡しください。手術当日の内服については確認してお伝えします。 21時に下剤を内服します。		朝、以下の薬を少量の水で内服してください。 ・ ・ ・	退院後に飲んでいただく抗生物質をお渡しします。 抗血栓薬・抗凝固薬を服用している方は、 月 日から再開してください。
検 査				朝、血液検査を行います。 レントゲン検査を行い、結石の状況を確認します。（場合により行わないこともあります）
食 事	21時以降は食事はできません。 夕食のときに術前飲料水が出ます。 		朝から食事はとれません。 指定の時間まで、術前飲料水を摂取できます。 ・午前手術⇒朝7時まで ・午後手術⇒朝9時まで 	・腰椎麻酔 ⇒ 3時間後から水分可 ・全身麻酔 ⇒ 6時間後から水分可 ＊手術の終了時間によって、夕食が出る場合があります。 
活 動 安静度	制限はありません。		ベッド上で安静に過ごします。 寝返りはできます。	朝から起き上がることができます。 歩行も可能となり制限はありません。
排 泄			手術室に行く前に排泄を済ませてください。	尿の管が入り自然に尿が排出されます。 管を曲げたり引っぱったりしないでください。 痛い時や違和感が強い場合は看護師を呼んでください。
清 潔	シャワーに入ってください。			尿の管を抜きます。 管を抜いた後は、尿の量や色を観察するため、尿をトイレにある袋に貯めてください。詳細は看護師が説明します。 尿が出にくい、痛みなどがありましたら看護師にお知らせください。
説 明 指 導	手術のオリエンテーションを行います。 手術の同意書を確認します。		 何かあったらすぐにナースコールを押してくださいね。	高熱が続く場合は退院が延期になることがあります。 体内（尿管）にステントチューブを入れたまま退院することがあります。 その場合、ステントチューブは外来で抜きます。
その他			手術開始時間（ ）からの予定です。 家族の方は手術中ファミリールームで待機していただきます。 PHSをお渡しします。	次回の外来日は / 

 血尿がしばらく続くことがあります。水分をこまめにとるようにしてください。
38 度以上の高熱や血尿が強くなるなどの症状があれば、外来にご連絡、ご相談ください。

済生会横浜市東部病院 泌尿器科 2017年7月20日改訂